

# 甲状腺外科草子 16

## 置かれた場所：上杉鷹山

杉野 圭三

2001年春、かねてから熱望していた米沢行き  
の機会を得た。朝一番の仙山線列車に乗り、  
その日のスケジュールを練る。時の流れが止  
まったかのような錯覚が楽しい。

米沢は日本が世界に誇りうる不世出の名君、  
上杉鷹山（1751-1822）の治めた地である。

ケネディ大統領が「尊敬する日本人は上杉  
鷹山である」と言った時、鷹山の名前を知る  
日本人ジャーナリストが皆無に近かったのは  
有名な逸話である。

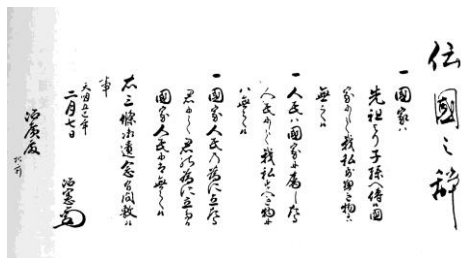
鷹山は秋月藩から養子として米沢藩に迎え  
られ、第九代藩主となった。当時、藩には 20  
万両以上の借金があった。上杉謙信以来の名  
門も関ヶ原の戦いで幕府から 120 万石から 30  
万石、更に 15 万石へと領地を減らされていた。  
しかも藩士の人員削減をしなかったため財政  
は「火の車」であった。いかに、養子の口と  
は言え、さぞかし頭を抱えたのに違いない。



上杉神社

鷹山の銅像

鷹山の行った藩政改革は『改革の火種』、『敬  
師史跡』、『なせばなる』、など数多く逸話や史  
実に彩られている。



伝国の辞

『伝国の辞』は天明 5 年に鷹山が藩主の座を  
養子治広に譲る時に伝授したものである。

### 伝国の辞（天明 5 年、1785 年）

一、国家は先祖より子孫へ伝候国家にして、我  
私すべき物にはこれ無く候

一、人民は国家に属したる人民にして、我私  
すべき物にはこれ無く候

一、国家人民の為に立たる君にて、君の為に  
立たる国家人民にはこれ無く候

リンカーン大統領の名演説『人民の、人民  
による、人民のための政治』（1863）の精神  
と同じであり、この時代の藩主の考えとして  
は稀有のものである。しかも、特筆すべきこ  
とは、『伝国の辞』がリンカーン演説の実に  
78 年も前になされたことである。

『伝国の辞』や神社に奉納された誓詞に見ら  
れる鷹山の書体は格調高く見事で、人格を表  
し、悪筆の小生は身の縮む思いであった。



### 「為せば成る」、参考文献など

鷹山は極めて厳しい状況で藩主に迎えられ  
たが、「置かれた場所」に不満も言わず、藩士  
や人民をまとめ、抵抗勢力を排除し、改革を  
成就したのは傑出した政治力である。

言葉だけで「改革」を唱える政治家の多い  
中、米沢で彼方を指差す鷹山公は時代を超え、  
冷静で悟りを開いたかの様な眼差しであった。

（広大第二外科同門会誌 DOMON 100、「米沢入国記」、2001  
年を改訂）

### 参考文献

内村鑑三：『代表的日本人』（岩波文庫、1894）

童門冬二：上杉鷹山の経営学、PHP 文庫、1990.

小関悠一郎：上杉鷹山、富国安民の政治、岩波新書、2021

山田武雄：米沢藩行革の恩人、上杉鷹山公、川島印刷、1985

（一甲状腺外科医の徒然なる随想）

2022 年 1 月 25 日